

腕試しテスト 《問題》

SQL トレーニング



腕試しテスト《問題》

※問題で使用する EMP 表、DEPT 表の構成やデータは研修で使ったサンプル表と同様とします。

Lesson 1》

以下の空欄に適切な言葉を記述してください。

【①】である Oracle は、データを縦軸【②】と横軸【③】からなる 2 次元の【④】形式で表現する。④にアクセスするときには必ず【⑤】と呼ばれる言語を使用する。
また、複数の④にまたがるデータを取り扱う場合、共通情報列をもとにして、【⑥】ができる。

Lesson 2》

以下の問い合わせ文で正しく実行できるものを 1 つ選択してください。

- 【A】 SELECT DISTINCT job, DISTINCT deptno FROM emp;
- 【B】 SELECT ename, SUM(sal) FROM emp GROUP BY deptno;
- 【C】 SELECT * FROM emp WHERE deptno = 30 ORDER BY sal DESC;
- 【D】 SELECT * FROM emp WHERE deptno NOT = 30;

Lesson 3》

EMP 表から名前の 2 文字目に M のつく社員を表示する SQL 文として、適切なものを 1 つ選択してください。

- 【A】 SELECT empno, ename FROM emp WHERE ename LIKE 'M_%';
- 【B】 SELECT empno, ename FROM emp WHERE ename LIKE '%M';
- 【C】 SELECT empno, ename FROM emp WHERE ename LIKE '%M_';
- 【D】 SELECT empno, ename FROM emp WHERE ename LIKE '_M%';

Lesson 4》

以下の SQL 文で、正しく実行できるものを 1 つ選択してください。

- 【A】 SELECT ename FROM emp WHERE deptno IN (SELECT deptno FROM emp WHERE ename = 'SCOTT' ORDER BY deptno);
- 【B】 SELECT ename FROM emp WHERE (job, deptno) IN (SELECT job, deptno FROM emp WHERE ename = 'ADAMS');
- 【C】 SELECT ename, sal FROM emp WHERE sal > (SELECT job FROM emp WHERE ename = 'SMITH');
- 【D】 SELECT ename FROM emp WHERE sal < (SELECT comm FROM emp WHERE deptno = 30);

Lesson 5

部門 30 と部門 20 の社員数の差分を求める SQL として、適切なものを 1 つ選択してください。

- 【A】 SELECT COUNT(*) AS d30 - COUNT(*) AS d20 FROM
 (SELECT COUNT(*) FROM emp WHERE deptno = 30), (SELECT COUNT(*) FROM emp WHERE deptno = 10);
- 【B】 SELECT d30 - d20 FROM
 (SELECT COUNT(*) AS d30 FROM emp WHERE deptno = 30), (SELECT COUNT(*) AS d20 FROM emp WHERE deptno = 20);
- 【C】 SELECT d30 - d20 FROM
 (SELECT COUNT(*) FROM emp WHERE deptno = 30 AS d30), (SELECT COUNT(*) FROM emp WHERE deptno = 20 AS d20);
- 【D】 SELECT d30 - d20 FROM
 (SELECT COUNT(*) AS d30 FROM emp)(SELECT COUNT(*) AS d20 FROM emp);

Lesson 6

以下の SQL 文を実行するとエラーが返ります。この理由として適切なものを 1 つ選択してください。

```
SQL> SELECT empno, ename, deptno, dname
2 FROM emp JOIN dept
3 ON emp.deptno = dept.deptno
4 WHERE dname = 'ACCOUNTING';
```

- 【A】 EMP 表と DEPT 表の結合条件の指定に誤りがあるため。
- 【B】 FROM 句での表の指定方法が間違っているため。
- 【C】 選択リストの DEPTNO 列が、EMP 表の列か DEPT 表の列か区別ができないため。
- 【D】 結合条件を WHERE 句で記述していないため。

Lesson 7

以下の DML 処理で正しく実行できるものを 2 つ選択してください。

- 【A】 DELETE FROM emp WHERE deptno = 20;
- 【B】 INSERT INTO emp (empno, ename) VALUES (6534, ALICE);
- 【C】 INSERT INTO emp (empno, ename, sal) VALUES ('ALICE', 6534, (SELECT sal FROM emp WHERE ename = 'MARTIN'));
- 【D】 UPDATE emp SET comm = NULL;

Lesson 8

COMMIT、ROLLBACK についての説明で適切なものを 1 つ選択してください。

- 【A】 ROLLBACK を実行した場合、一度 COMMIT したデータも含めすべて取り消される。
- 【B】 表を作成した後、ROLLBACK を実行すると表の作成処理は取り消される。
- 【C】 障害が発生した場合、ユーザーは常に明示的な ROLLBACK をする必要がある。
- 【D】 デッドロックなどで SQL 実行時にエラーが発生した場合、エラーが発生した 1 文のみがロールバックされる。

